

## 道路建設中!?

外務省日本NGO無償資金協力 (ODA) 事業でだいま道路を建設中です!  
先日モニタリングに行かせていただきましたが、車で通ったらタイヤがはずれるんじゃないかと思うくらいヒドイ道です! デッコボッコの道を通る車中では、体が飛んだり跳ねたり…この道、雨季にはさらに状態が悪く、雨水がたまりとても通行できません。  
この道があるマジーピン村では、重傷・重病患者が出た際や、妊婦の異常分娩の際は、2マイル離れた病院に連れていかなければなりません、この道の状況では搬送にも困難を要します。搬送中に亡くなった方は2004年から2009年までの5年間で104名にのぼりました。  
また子どもの通学にも大きな問題が。道が悪いせいで登校できない児童もあり、退学する子どもの65%が通学の困難さを理由として挙げています。(まさにTPAが坂井さんのご協力を得て建設したガナインシエー小学校もこの道の先にある!)  
この状況を改善するため、TPAは6.4マイルにかけアスファルトの道路を敷設中です。5月には完成予定とのこと。  
敷設後は道路が通る10カ村が基金を集め、それぞれ村の区域ごとに責任をもってメンテナンスを行います。村では率先して、出来上がる前から1年目の基金を集めているとのこと。また建設後は大きなトラックが道を荒らさないよう見張るとか…  
道路建設なんて「つくって終わり…」の事業にならないか心配でしたが、地球市民の会らしい、みんなの心が集まった事業になりつつあります。

## マジーピン村・パリリン村間の道路完成!!

ネットワークテラ春号でお知らせしていた「外務省日本NGO無償資金協力事業」で建設中だった道路が6月無事完成しました!

このマジーピン村、パリリン村間の道は、この辺では州都タウンジーに行く唯一の道です。この道は舗装されておらず、通行が困難なことから、最も状態が悪くなる雨季には農産物を運ぼうにも運搬途中で痛んでしまったり、運搬するトラックが通行できず、売り物になりませんでした。地域の8~9割にのぼる農民にとって大きな痛手です。

また、マジーピン村では、重傷・重病患者が出た際や、妊婦の異常分娩の際は、2マイル離れた病院に連れていかなければなりません、道の状態が非常に悪く、通行が困難なため、搬送中に亡くなった方が2004年から2009年までの5年間で104名にのぼりました。子どもの通学にも大きな問題があり、でこぼこの道は雨季にはとても通れる状況ではなく、道が悪いせいで登校できない児童もあり、退学する子どもの65%が通学の困難さを理由として挙げていました。

6.4マイルの道路が完成した今、この地域からタウンジーに行くバスや農産物の運搬トラックの便数も増え、農民達は以前より農産物を出荷しやすくなり、以前より1.5倍雨季の収入が上がったとの嬉しい声。子どもの通学や病人の搬送も改善される見込みです。

インフラ整備が、地域の経済発展や福祉の向上に貢献することができると実感することができました。



7月13日には、国境省、日本大使館の方も参加しての落成式を行いました。